



# 草 見 露

第80号 令和8年(2026年)

秋季大祭 大注連縄作り  
悔い事祓い(納め命日)

令和8年度年象意  
かく こ てい しん  
革故鼎新の年

# 新年のご挨拶

浪越進照

親神尊を慕う皆様に仁尾の鎮宮より

謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和八年の年象意として【革故鼎新(かくこていしん)】の四字熟語を選ばせていただきました。「革故」は古いもの・旧制度(故)を改める(革)という意味であり、「鼎新」は新しい仕組み・新制度(鼎)を打ち立てる(新)という意味です。したがって【革故鼎新の年】とは、「古い制度・価値観・やり方を思い切って改め、新しい秩序や仕組みを打ち立てる大きなうねりが生じる年」と言えるでしょう。

昨年(令和七年)は、それまでの状況を一変させる激しい変化が突如として現れる「疾風迅雷(しつぷうじんらい)」の年象意を持つ年でした。したがって、今年の年象意である「革故鼎新」は、疾風迅雷によって昨年現れた激しい動きの余波が残るなか、「これまでになかった秩序や仕組みが次々と打ち立てられていく年」なのです。

革故鼎新について、もう少し詳しく解説してみます。革故鼎新を強く暗示する今年の星の配

列は、既存の秩序や仕組みを完全に否定する暗示にはなっておりません。つまり、変える必要がない既存の秩序や仕組みはそのまま温存し、昨年の疾風迅雷の影響を受けて通用しなくなった秩序や仕組みがあれば、それらは躊躇わず果敢に変革する温故知新のような暗示を含む星の配列になっているのです。

では、どうやって「残すべき秩序や仕組み」と「果敢に変えるべき秩序や仕組み」を見分ければいいのかでしょう。その答えは意外に簡単です。今まで何の疑問も抱かずに行ってきたことに対して「本当にこのままでいいのだろうか」と一度立ち止まり、自らに問いかけてみることです。また、ここ最近「自分のこの習慣(行動考え方・価値観)は変えたほうがいいのかもしれない」と何となく感じているものがあれば、それはほぼ間違いなく革故鼎新の対象であり、積極的に見直すことで新たな道が開けていくでしょう。

革故鼎新の年、親神尊を慕う我々は、この事も覚えておくべきでしょう。親神尊に委身する(親神尊が指し示してくださった結果に身を委ねる)「南無親神尊(なむおやがみそん)」の心を忘れず、日々の「奉拝五行」を通じて「六心の精進」に努めることで、革故鼎新の年に求められる「変(自らの行いを変えろ)」「または「不変(自らの行いを変えない)」の選択を過たずに行える事も。

さらに申し添えるなら、革故鼎新が示す変革とは、外界の出来事だけではなく、私たち一人ひとりの内面にも強く及ぶものです。自らの心の内に潜む迷いや執着に気づき、それらを静かに手放していくことこそ、最も大きな「革」であり、また新たに磨かれた心で親神尊の御心に応えていく姿こそ「鼎新」の実践となるはずで、周囲がどれほど変化に満ちていようと、内なる誠の心を整え続ける限り、私たちは確かな道を歩むことができます。どうか本年も、親神尊の御導きのもと、それぞれの歩みが光に満ちたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

無意無恩頼無創無生

(進照)

令和8年(2026年)

## 七宝稲荷暦吉日一覽表

<b>1月</b> 【3吉日】 27日(火) / 30日(金) 【2吉日】 16日(金) / 21日(水)	<b>5月</b> 【3吉日】 4日(月) / 10日(日) / 21日(木) / 27日(水) 【2吉日】 1日(金) / 16日(土) / 24日(日) / 30日(土)	<b>9月</b> 【3吉日】 11日(金) / 23日(水) 【2吉日】 1日(火) / 4日(金) / 14日(月) / 17日(木)
<b>2月</b> 【3吉日】 5日(木) / 11日(水) 【2吉日】 8日(日)	<b>6月</b> 【3吉日】 2日(火) / 15日(月) 【2吉日】 8日(月) / 30日(火)	<b>10月</b> 【3吉日】 2日(金) / 5日(月) / 25日(日) 【2吉日】 8日(木) / 16日(金) / 28日(水)
<b>3月</b> 【3吉日】 8日(日) / 22日(日) 【2吉日】 11日(水) / 25日(水)	<b>7月</b> 【3吉日】 12日(日) / 22日(水) 【2吉日】 9日(木) / 25日(土)	<b>11月</b> 【3吉日】 19日(木) / 25日(水) 【2吉日】 10日(火) / 16日(月) / 22日(日)
<b>4月</b> 【3吉日】 22日(水) / 28日(火) 【2吉日】 9日(木) / 19日(日)	<b>8月</b> 【3吉日】 3日(月) 【2吉日】 6日(木) / 9日(日)	<b>12月</b> 【3吉日】 1日(火) / 7日(月) 【2吉日】 4日(金) / 9日(水)

※ 日(日)は日曜日、月(月)や火(火)等は祝祭日や振替休日の曜日です。

# 秋季大祭



▲ 楽しそうに獅子舞奉納

新型コロナウイルスが世界的に感染拡大した令和二年の秋季大祭以降、中止を余儀なくされていた大祭が、令和七年九月二十日(土)・二十一日(日)の両日、令和七年度秋季大祭として親神尊の鎮宮において五年ぶりに執り行われた。

斯くの如く再開された大祭ではあるが、コロナ禍が完全に収まったとは未だ言えず、また大祭の奉賛作業を担ってくださる信者各位が高齢であることにも配慮し、神輿御遊行や直会などを省略した簡素化された秋季大祭となった。

とはいえ、待ちに待った五年ぶりの大祭である。集う信者たちの表情は皆明るく、弾んだ声が鎮宮のあちこちに満ち溢れていた。

(進照)

# 大注連縄作り



▲ 共同作業に集中…

コロナ禍になって以降静かな佇まいを見せている本堂ですが、冷え込みの厳しかった十二月十四日(日)の朝から夕方にかけて賑やかに活気づいていました。

進照先生が参加者を修祓して下さった後、大注連縄を綯う班やゴボウ型注連縄班や眷属神注連縄班に分かれて作業は進められ、その近くでは進照先生が初詣の皆さんが買いたい求められる縁起熊手・破魔矢・肌守などの陳列準備作業をしておられました。午後からも作業は続けられ、大注連縄とゴボウ型注連縄を進照先生に塩水で祓い清めていただき、聖域を表す紙垂を飾り付けて作業を終えました。

(M・A)

# 納め命日



▲ 暗闇の中で厳かに

令和七年十二月十八日午後八時より、年内最後の神事である「納め命日(悔い事祓)」が、親神尊の御前において厳かに執り行われた。

親神尊を慕う我々は、御祓の四番目に奏上する「親神様の御祓」において、「この親神尊を念ずるとき、まず我が心の善し悪しを鏡に写し、行いと祈る心を引き比べ、悪しき行いあるなれば悪しき心を改めて」と、日々唱えている。

だのに、人は過ちを犯す。悔い事祓の神事において、進照が行者の秘技を最も多く用いる所以は、まさにそこにある。また、「悪しき行いを正すには、闇の中に潜む見えざる悪しき心を改めよ」と説かれる親神尊の御教えに従う象徴として、本神事は、蠟燭の灯火のみを頼りとする暗闇の中で行われる。

(進照)

## 令和8年(2026年)

# 七宝稲荷年中行事

1月	1日 木	新年初御祓 午前1時開始	6月	27日 土	茅輪作り 午後1時作業開始	
	1日 木	露見草 80号発行日		28日 日	夏越祭(茅輪潜り) 午前10時開始	
	11日 日	三毬杖(とんど焼き) 午前10時開始		7月	28日 火	露見草 81号発行日
	18日 日	春季大祭案内状宛名書き		8月	23日 日	秋季大祭案内状宛名書き
	25日 日	厄除神事(要事前申込み)		9月	13日 日	秋季大掃除奉賛
2月	8日 日	春季大掃除奉賛	19日 土		秋季大祭【宵祭】	
	14日 土	春季大祭【宵祭】	20日 日		秋季大祭【本祭】 午前10時御膳上げ	
	15日 日	春季大祭【本祭】 午前10時御膳上げ	21日 月	祭収め		
4月	16日 月	祭収め	12月	6日 日	七宝稲荷年忘れ会 午前11時神事開始	
		5日 日		七宝稲荷花見の会 午前11時神事開始	13日 日	大注連縄作り
					18日 金	納め命日(悔い事祓) 午後8時神事開始

## お知らせ

## 三毬杖(とんど焼き)

日時

1月11日(日)  
午前10時より

親神尊に無病息災を祈念して行うとんど焼きに、大勢が参加下さるようご案内申します。可燃物と不燃物の分別もお願いします。同時に悔い事を書いた封書も忘れずご持参下さい。

## 厄除神事

日時

1月25日(日)

今年の前厄・本厄・後厄の神事を希望される方は事前に当神社までお申込み下さい。申込み下さった方に詳細な内容の案内状を郵送致します。

## 春季大祭

日時

1月18日(日) 案内状宛名書き  
2月8日(日) 春季大掃除奉賛  
2月14日(土) 春季大祭(宵祭)  
2月15日(日) 春季大祭(本祭)  
2月16日(月) 祭収め

厳粛な神事が行われる祈願祭に、皆様がお誘い合わせてご参拝下さいますようご案内を申し上げます。

## 花見の会

日時

4月5日(日)  
午前11時神事開始

参加費

男性：3,500円  
女性：3,000円

散りゆく花びらと共に瘟鬼祓いをして頂き、親睦を深め合える機会にぜひご参加下さるようお誘い申し上げます。

## 茅輪作り

日時

6月27日(土)  
午後1時より

竹を芯にし茅を束ね巻き仕上げていく共同作業に、有志の方々がご参集下さるようお願い申し上げます。

## 夏越祭(茅輪潜り)

日時

6月28日(日)  
午前10時神事開始

厳かに神事を受け茅輪を潜り、残り半年も元気に過ごしましょう。玄関前を護ってくれる「ミニ茅輪」も受ける事が出来ます。

## 次号のご案内

次号「露見草81号」は令和8年7月28日(火)に発行予定で、「初御祓」から「夏越祭」までが掲載されます。

## 七宝稲荷のブログ

七宝稲荷のブログは、パソコンやスマホを使って閲覧していただけます。

<https://sippo-inari.com/>



## 七宝稲荷宛てメール

七宝稲荷宛てのメールアドレスは、以下の通りです。

[sinsyo@sippo-inari.com](mailto:sinsyo@sippo-inari.com)

